

## 東京アートクラフトフェスタvol.3

# 消しゴムはんこ・スタンプアート系ジャンルのご出展者様

「東京アートクラフトフェスタvol.3」では新型コロナウイルス感染症の拡大が完全に収束していない中で開催を予定しているため、過去2回の開催で取り組みを行ってまいりました「記念スタンプ」「フレークシール交換」「ATC・ATCoins交換」について変則的な対応を行うことになりましたので、ご協力をお願いいたします。

## フレークシール交換、ATC・ATCoinsの交換について

「東京アートクラフトフェスタvol.3」会場内における「フレークシール交換」ならびに「ATC・ATCoins交換」につきましては、事前に申請していただいたブース内での交換のみとし、来場者同士の接触を極力避けるために会場内(通路)での交換については自粛をお願いする予定です。※これに伴い会場内の休憩スペースの設置を見送らせていただく予定です。

フレークシール交換ボードやATC・ATCoins交換ボードをブース内に設置する場合は、お手数をおかけいたしますが、2020年10月15日までに事務局へ事前にご連絡をいただきますようお願いいたします。尚、設置の申請が1件もない場合は、イベント内全体での交換の自粛についてイベント公式サイトにてアナウンス予定です。(メール:tokyo@artcraftfesta.com)

## 記念スタンプの設置自粛要請について ~ショップカード企画へ~

「東京アートクラフトフェスタ」の大きな魅力として、ご来場の皆様にご好評をいただいております「記念スタンプ」について、これまでは消しゴムはんこ系・スタンプアート系の出展者様に任意で設置していただいておりますが、「多くの方が手を触れること」「出展者様の消毒の作業負担」「出展者様の消毒液の金銭的負担」など様々な要因を考慮して、**vol.3におきましては全出展者様一律で設置の自粛**をお願いする運びとなりました。

「記念スタンプ」は、ご出展の皆様に毎回趣向を凝らしたものを設置していただき、ご来場いただいたお客様の笑顔を増やす重要な要素となっておりますが、vol.3の開催時におきましてはご来場のお客様ならびにすべての出展者様への感染拡大防止のため、設置の自粛についてご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、今回は「記念スタンプ」の設置の代替案として「特製ショップカード」配布企画を実施いたします。サイズは名刺サイズを推奨とし、表面・裏面には屋号や作家のプロフィール、活動内容、SNSアカウント、ホームページやブログのURL、QRコード、オーダー制作や教室のPRなど、イベント終了後にも販売促進やSNSのフォロワー増につなげるための広告物として各出展者様に任意でご用意いただき、ブースに設置していただくという取り組みです。ご来場の皆様にはショップカードのコレクションを兼ねて各ブースに立ち寄っていただくきっかけを作ります。※配布の実施は任意となりますので、ご希望の方のみ設置・配布をお願いします。尚、配布物の費用は出展者様のご負担となりますのでご了承ください。

# ショップカードを設置しませんか？

「東京アートクラフトフェスタvol.3」では、感染拡大のリスクを減らすため、過去2回の開催でご好評をいただいております「記念スタンプ」企画を中止し、ご来場の皆様向けに「ショップカード集め企画」を実施いたします。お客様がブースに立ち寄るきっかけを作り、なおかつSNSのフォロワー増や、作品販売のオーダー増などのPRにもつながる「ショップカード」を設置しませんか？

## ショップカードとは？名刺と違うの!?

ハンドメイドの世界では、一般的にはお仕事を受けるための窓口（メールアドレス・電話番号・住所）などを記載した作家個人の連絡先情報を記載したものを「名刺」と呼ぶことに対し、「ショップカード」は活動する屋号（ショップ）のPR情報を記載した「広告物」という位置付けになります。

## ショップカードには何を記載すればいいの？

販売促進やSNSのフォロワー増につなげるための広告物として、表面・裏面には屋号や作家のプロフィール、活動内容、SNSアカウント、ホームページやブログのURL、QRコード、オーダー制作や教室のPRなどを記載しましょう。作品の写真を掲載したり、消しゴムはんこ作家さんであれば、1枚ずつ消しゴムはんこを捺すことでオリジナリティを演出でき保管率の高いショップカードになります。サイズはお客様が持ち帰りやすい大きさであることと、1枚あたりのコストを考慮すると名刺サイズ以下がおすすめです。配布しきれなかった場合を考慮し、他のイベントや活動においても配布できるよう長期にわたって使用できる情報を記載しましょう。



●記載見本：実際のショップカードには作品見本の写真を入れたり、紙質のこだわったり、「持ち帰りたい」「保管しておきたい」と思っていただけなものにしましょう。

## 追加注文や修理時の問い合わせ窓口としても

ショップカードの配布はお客様の「安心感」にもつながります。作品の販売時にショップカードもお渡しすることで「おそろいのものをもう一つ欲しい」「お友達に見せたらどこで買ったか教えてほしいと言われた」という際に、とても役立ちます。

また、ハンドメイドイベントによっては、お客様の不良品交換対応のため、ショップカードを必ず購入者に配布することをルールとしているところもあります。ショップカードを用意することは、ハンドメイドイベントで作品を販売する時のマナーのひとつになりつつあります。

## 印刷代がもったいない？ 広告費として考える

ショップカードを用意するにあたり、紙代や印刷代、そして制作時の費用もかかります。「無料で配る」ことに「もったいない」と感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。けれども出展料を払いイベントに出るのですから、ハンドメイド作品に興味を持つお客様（いわゆる「見込み客」）に何もアピールできずに終えることの方がもったいないことかもしれません。ショップカードは広告費・宣伝費と捉え、知名度のアップや、見込み客の獲得目的のための必要なツールとして考えましょう。